

研究課題名	小型肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除、開腹肝切除と経皮的ラジオ波焼灼療法の治療成績の比較：SURF trial付随研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 消化器科 氏名 土谷 薫
研究期間	(西暦) 2020 年 12 月 ～ 2023 年 3 月
研究の意義・目的	<p>肝切除とRFAの初回治療としての有効性を評価するために、全国規模の多施設共同研究「初発肝細胞癌に対する切除とRFAの効果を比較検討するSURF-RCT, SURF-cohort研究」(以下SURF trial)が計画されました。また肝切除においては、1992年に腹腔鏡下肝切除が報告され、その施行割合は年々増加しています。その治療成績に関しては、腹腔鏡下肝切除は開腹肝切除と比較して遜色のない結果が報告されています。しかしながら、これらの報告は対象となった患者さんも少なく単施設からのコホート研究であり、患者さんの背景因子もそろっていません。一般的に、腹腔鏡下肝切除は開腹肝切除と比較して、ダメージが低いと考えられています。また、RFAと比較すると、再発が有意に少ないといわれています。しかしながら、背景因子をそろえた開腹肝切除、腹腔鏡下肝切除とRFAを比較した報告はなく、十分な根拠は存在しないのが現状です。今回の研究の目的は、全国規模の多施設共同研究(SURF-trial)へ登録された患者さんの情報を用いて、腹腔鏡下肝切除、開腹肝切除、およびRFAを合わせた3群におけるダメージの低い(術後在院日数、合併症)、および長期成績について検討することです。SURF-trialですでに登録されている情報に加え、あなたの本研究に必要な項目を診療録より一部追加させていただき、定期的に調査させていただき、この研究に参加することで、うける治療や検査など、診療の内容が変わることは一切ありませんし、不利益を受けることもありません。この調査の結果、肝細胞癌に対する最適な治療方法についての知見を得ることができ、今後の肝細胞がん治療戦略を向上させることが可能であると考えています。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	後ろ向き観察研究 (2020年12月 ～ 2023年3月)
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①情報は全て匿名化し使用。試料の利用はない。 ②肝癌の局所治療に関する臨床情報 ③研究責任者が許可した研究分担医師のみ情報を利用する ④SURF-trial研究代表者 国立国際医療研究センター 國土 典宏 参加施設 SURF-trialホームページ内参照 URL : http://www.surftrial.jp/general/sanka-shisetsu.html データセンター EPクルーズ株式会社

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ

問合せ先

〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1

武蔵野赤十字病院

所属 消化器科

氏名 土谷 薫

TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525